

解答

問一 □ 退屈 □ 絶望 ハ はげ（ます） ニ 善人 ホ つの（らせる）
問二 A エ B オ C イ D ア

問三 a 世界中で使える（言葉）。
問四 人はそれぞれ イでいる。
問五

問六 イ コミュニケーションは命がけだということを全くわかっていないため、「死ぬ」「殺す」などの言葉が軽くなっ
問七 てしまい、軽々しく使われるようになること。
言葉

問八 ア
問九

問一 □ イ まぎ（れて） □ 照（れた） ハ 唱和 ニ かなた
問二 A ウ B イ C ア

問三 エ
問四 イ 知らない人が突然みかんをくれたことや、餅をもらいそびれている自分たちを気づかう言葉におどろき、うれ
問五 しかったから。
問六 ウ

問七 以前はお父さんとお母さんの間はうまくいっていたが、今はそうではないこと。

解説

問四 □ 「何処でも通じる」「何処でも使える」でも可。

問七 「コミュニケーションは命がけだということ」を全くわかっていない」ことにより、「近頃は、死ぬ、とか、殺す、
といった言葉が軽くなってしまった」と述べられている部分をまとめましょう。

問五 □ 「目をみはりながら、深い声で礼を言った」えび男くん。みかんをもらったこと、その人の「こんなはじっこ
にいちや、餅はまわってこないだろう」という思いやりの言葉をかけてもらったことにおどろき、感謝して
いる様子がわかります。

問七 「お父さんとお母さんの間でとりこみごとがあった」と大人の口調で話したり、「ほんとだね、大丈夫じゃな
い」「ニンゲンフシン」「昔の光はあったかいけど、今はもうないものの光」と言ったり、「むかしのひかりい
まいずこ」と歌ったりするえび男くんの様子から、えび男くんの両親の間に何かあったことが推測されます。